



友愛の丘通信

U Aゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第 22 号
(2017年8月1日発行)
発行責任者：小西 英二
編集人：大川 芳男

一番の研修会シーズンに職員大忙し 活気あふれる声が連日、友愛の丘に響き渡る

ゴールデンウィーク明けから7月の半ばまでに掛けて、友愛の丘は1年間で最も利用団体の多い研修ラッシュの時期を迎えます。本年もこの2か月間で、本部研修が12、単組・県支部等組合関係の研修・会議が31開催され、延べ2,116名が訪れました。そのため、複数の研修の同時進行や研修スケジュールの調整、また食事の準備、宿舎の入れ替え作業、加えて除草などの環境美化作業とセンター全体が大忙しでした。梅雨の時期と重なりましたが、梅雨空を吹き飛ばすような活気あふれる研修が展開されました。



相手を受容しながら傾聴
(カウンセリング講座)



積極的に質問をする研修生
(カウンセリング講座)



話し合った内容を発表
(情報・宣伝担当者養成講座)



健闘をたたえがっちり握手
(交渉力強化ディベート講座)

いざプレゼンの実習
(心に響くプレゼン講座)



食事の準備をする職員



草刈り作業をする職員

心ひとつに消防訓練を実施 ～利用者の安全確保が最優先～

7月21日、友愛の丘では職員全員で消防訓練を実施し、火災発生時の避難誘導と消火訓練を行いました。避難訓練では、火災が発生した時に利用者が「教室」「食堂」「宿泊棟」にいた時を想定し、それぞれの場面における避難誘導を行いました。そして訓練後は反省点や改善点などについて意見を出し合い、振り返りを実施しました。また、消火訓練では、消火栓の使用方法などを確認し、実際にホースを伸ばしての放水、続いて消火器による訓練を行いました。

火災は起きてはならないことですが、万が一のための適切な対応そして備えの大切さを職員一同で共有しました。



消火栓の使用方法的確認



実践形式の放水訓練

研修会 の紹介

「情報・宣伝担当者衛生講座」(6/23~25)

魅力ある機関紙を作ろう

情報宣伝担当者として必要な知識や機関紙・誌作成の技術を学ぶための専門教育、第11期情報・宣伝担当者養成講座を開催しました。

講義では、情宣活動の重要性を再認識すると同時に、読者が思わず読みたくなるような効果的な見出しの付け方や写真の構図、配置など、機関紙を作成する上で必要な技術を基本から学びました。講義後、研修生はグループに分かれて情報交換や意見交換を行いながら、それぞれ趣向を凝らした新聞を作成しました。

機関紙作りにも様々なルールや手法があり、研修生からは「すぐに役立つスキルを学ぶことができた」といった声が多く聞かれ、これからの情宣担当者としての力強い決意が語られました。



自分たちで作成した新聞を発表する研修生

「交渉力強化ディベート講座」(7/17~19)

実践を通じ交渉の技術を身につける

交渉力強化の重要性を学び、交渉で有効なディベートの理論と論理的思考能力を身につけることを目的に、第5期交渉力強化ディベート講座を開催しました。

設定されたテーマについて肯定側と否定側に分かれ、決められた時間・順番にのっとり第三者を説得する形で議論しました。対戦を重ねるごとに立論(主張)の要点も明快になり、また反対尋問(質問)も徐々にテンポ良く質問が繰り出されるようになりました。しかし、相手側の主張を覆すような回答を引き出すことはむずかしく、研修生からは「相手側の弱点を突くことができなかった」「自分たちのペースで議論を進められなかった」といった意見が寄せられました。研修生は実践によってディベートの難しさを痛感すると同時に、交渉の上で必要な技術を身につけました。



作戦会議をする研修生

友愛の丘歳時記

噴き出す汗をぬぐい雑草と格闘

この時期、雑草の伸びが早く、抜いても抜いてもあちらこちらで次から次へと生えてきます。

友愛の丘では管理部門のみならず、他の職員も時間を作って雑草を取っています。梅雨も明け、いよいよ夏本番、作業をしていると汗が吹き出し、ぬぐってもぬぐっても止まりませんが、ひた向きに無言で抜いています。

これからも、友愛の丘を訪れた方が気持ちよく利用してもらえるようにしていきたいと思います。



Before



After

先駆者の塔の前の階段

伝統引き継ぐ餅撒きに歓声

友愛の丘から歩くこと5分、友愛の丘職員のお宅で上棟式(棟上げ式)と餅撒きが行われました。

上棟式は、建物が無事完成することを祈願する祭事ですが、地域の方に「工事期間中ご迷惑をお掛けします」といったあいさつ的な意味合いもあるようです。

当日は、ご近所の方々や学区内の子どもたちが多数集まる中、はじめに神事が行われ、家主からあいさつが述べられた後、お待ちかねの餅撒きのスタートです。お餅やお菓子が大量に撒かれ、集まった人々は「こっちに投げて」と大声をあげながら手を高々と伸ばし、皆、大興奮でした。それぞれが持参した袋はみるみるうちにいっぱいになり、笑顔が溢れていました。

私自身30数年ぶりの体験でした。



大人も童心に帰って大興奮

編集後記 岡山に来て2年、今年も桃の季節がやってきました。代表的品種清水白桃は今、まさに旬です。この夏もぜひ味わってみたいものです。(猪三郎)